

都市局長賞

都市計画道路 旭山の田線整備事業

(表彰対象者：山口県土木建築部)

表彰の理由

施工に当たり、山陽本線・山陰本線の跨線橋の拡幅工事を交通制限を行わずに、3分割して施工するなどその工法が技術的に評価に値する。
事業の実施に当たっては、地元自治会、JR、商店会、警察等と工程及び安全対策などの細部について綿密に調整を行い、地元の協力により工事影響を最小限におさえて完成させた。

事業のあらまし

本路線は下関市の中心市街地と市北部を結ぶ幹線街路である。近年周辺地域の発展にともない交通量が増加しており、特に国道191号との交差点付近の当該区間は交通混雑が著しく早期の整備を行う必要があった。このため交差点よりJR跨線橋部を含めた250mの区間を4車線に拡幅改良し、交通混雑の緩和を図ったものである。

- 延長：250m（跨線橋 21.6m）
- 幅員：22.0m
- 事業費：599.5百万円
- 事業実施期間：昭和58年度～平成2年度



全景（整備後）



全景（整備前）



JR跨線橋部（旧橋：鋼板桁橋）、（JR山陽線及びJR山陰線）（整備後）



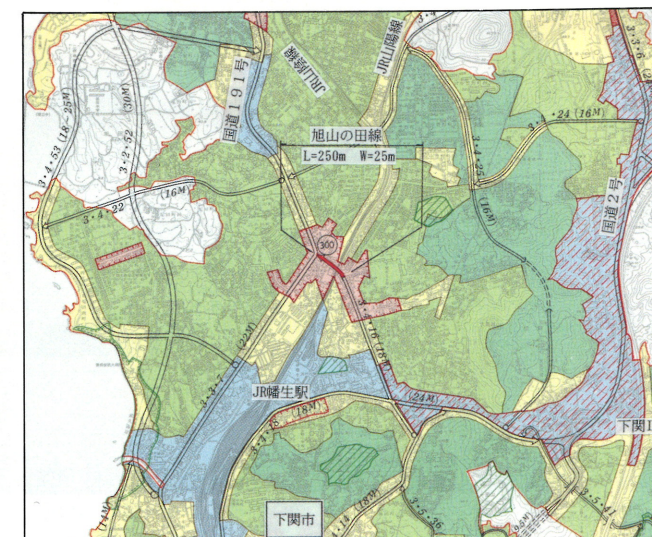
JR跨線橋部（整備前）



整備後状況



整備前状況



事業遂行上の工夫

交通の輻輳する区間のため施工に当たっては、JR山陽線、JR山陰線の跨線橋の拡幅改良を交通制限を行うことなく実施した。このため、跨線橋を3分割して施工するとともに、地元自治会、商店会、JR、警察等と工事工程や安全対策等の調整を綿密に行い、地元の協力により工事の影響を最小限に抑えることができた。